

## 2022年3月期 第1四半期 決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2021年7月28日 16:00~17:00

開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社

回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市

## &lt;質問者1&gt;

(1) 次期自治体情報セキュリティクラウドの案件について、これまで培ったノウハウをサービス化して複数の顧客に展開するという戦略を体現された例だと思います。ここまでの苦勞もあつたと思いますが、今後の拡大に向けてのお考えをお伺いさせていただきます。

2016年度に岩手県、宮城県、新潟県、長崎県の4県の構築を行い、2017年度から運用を開始し、そこから運用を継続する中で得られたノウハウを蓄積すると共に課題を把握することができました。

これらの知見、そして総務省のガイドラインを満たす形で、基本サービス、オプションサービス、個別カスタマイズといった3段階の形で来年度よりサービス提供を予定しており、コスト面、品質面ともに私共が考える最良の形でご提供できると自信を持っています。今後も入札が続きますので、ぜひ多くの自治体にご利用いただけるように引き続き対応を進めてまいります。

(2) ビジネス IT ソリューションの収益性について教えてください。公共案件の大型受注が見込まれる今期においては外注費も増加すると思われませんが、今後の見通しはいかがでしょうか。

お客様の本業支援あるいは行政サービスの提供を支援していく領域のため、大きな開発案件もございます。これらの案件においては、多くの開発パートナーの協力を得て進めるため、外部キャッシュアウトも膨らみます。このため、構造的に限界利益率を押し下げ要因になります。一方で、Con-Bridge (コンブリッジ) のような業界における協調領域に対するプラットフォーム提供も進めており、中長期では利益率を引き上げていく方針です。

(3) 受注残も高水準であり案件の引合いも多いと思いますが、それに対応するリソースの状況についてまだ引き上げられるものなのでしょうか。

リソースの問題については重要な経営課題だと認識しています。この課題への対応の1つとして、2年前からソフトバンク(株)とのベンダーマネジメント案件を進めてきました。この案件によりパートナー数が大幅に増え、現在では1か月あたり2,800名くらいのパートナーに協力いただいています。このようなパートナー企業からのご支援により様々なチャレンジができております。今後もリソースが必要なことは明白なので、引き続き重要な経営課題と捉えて努力してまいります。

(4) 今期も人材採用は引き続き強化するとのことですが、今後さらなる成長に向けた M&A や海外での開発リソース獲得については何かお考えがありますでしょうか？

M&A につきましては毎月ミーティングを行い継続して検討しておりますが、本日時点でお話出来るものはありません。リソースについては重要な経営課題と認識しており、グローバルセキュリティ監視センターやオフショアの活用などを進めております。コロナ禍ということもあり現地に行くことができないため、信頼できるパートナー探しという観点では少し時間がかかりそうですが、グローバル化も必要であると考え、アジアを中心とした海外での新たなパートナーの開拓も進めてまいります。

以上